

松 並 木

No.128

令和7年3月1日発行
北海道七飯高等学校PTA



今を大事に生きる



PTA 会長
道 股 成 晃

卒業生の皆さん卒業おめでとう
ございます。

また保護者の皆さま、お子さんが立派に成長され卒業されますことを心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんがこれまでの努力と成長を経て、この日を迎えられた事を心から祝福します。

新しい旅立ちの時を迎え期待と不安が入り混じる中で「今を大事に生きる」というテーマを胸に刻んでください。

未来の夢や目標を持つのは素晴らしい事です。しかし、未来ばかりを見つめていると今この瞬間の大切さを見失ってしまうことがあります。日々の小さな喜びや挑戦を楽しみ、周りの人々との絆を深めることが、豊かな人生を築くカギとなります。

例えば友人との何気ない会話や、家族との温かい時間、そして

自分自身の成長を感じる瞬間、これらはすべて、今この瞬間を大切に生きることので得られる宝物です。

これからの皆さんの道のりはさまざまな挑戦やチャンスが待っています。時には困難に直面することもあるでしょう、しかし、その一つ一つを乗り越えることで、皆さんはさらに強くそして優しく成長していくことができます。大切なのはどんな時でも自分らしさを失わず今この瞬間に全力を注ぐことです。皆さんの未来が素晴らしいものでありますように心から応援しています。どんな道を選んでも、今を大事に生きること、その道は必ず輝くものとなるでしょう。皆さんのこれからの人生が幸せと成功に満ちたものでありますように。

最後になりますが保護者の皆さまには一年間PTA活動へのご理解と多大なご協力を頂きましたことに深く感謝いたします。また校長先生をはじめとするすべての先生方には卒業までの三年間、生徒たちを温かく、時には厳しく導いていただいた事に心より感謝申し上げます。

「七高三本柱」に再注目！



校長 平石 聡

保護者の皆さまにおかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、このたび卒業を迎えました三年生諸君とその保護者の皆さまに、心よりお祝い申し上げます。卒業生の今後の活躍を何よりも期待しています。『羽ばたけ、七高卒業生！』

さて、本校は今年度、スクール・ミッションの見直しを実施しました。この見直しは、何か新しい教育実践を取り入れようというわけではなく、これまで掲げてきた本校の教育方針である『三本柱（国際理解教育・環境教育・キャリア教育）』をはっきりと示す内容へと改定しています。これにより、本校の特色をより色濃くアウトプットして行きたいと考えています。

PTA会員の皆さまにおかれま

しては、引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。

最後にご報告ですが、六月八日（土）～九日（日）にかけて、北海道高等学校PTA連合会大会北見大会に参加してきました。連日暑い日が続き、会場へと移動するたびに、汗だくになるほどでした。産婦人科医でタレントでもある丸田佳奈氏の講演では、地方から全国へ挑戦する秘訣を教わりました。分科会では、保護者の切実な悩みを聞き、生徒とどう接したらよいのかを一緒に検証しました。詳細は割愛しますが、この誌面をお借りして報告させていただきます。



祝卒業

卒業担任から 出会えたことに感謝



三年一組 担任
守屋 匡人

三年生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。特に、保護者の皆様は、この日を本当に心待ちにしていた方もいらっしゃると思います。本当にお疲れ様でした。

早いもので、皆さんと出会った入学式から、あつという間に三年間が経ちました。今と比べると、まだ幼い表情の皆さんと出会った日のことを昨日のように思い出します。

あれから三年が経った今、卒業を迎えた皆さんの表情は、あの頃とは比べものにならないほど逞しく自信に満ちています。これは、皆さんが七飯高校で過ごした学校生活が、充実していて、自分自身でも成長を実感できていることを表しているのではないのでしょうか。皆さんは「七飯高校をもっとよい学校にしよう」という、我々担任団をはじめとする先生方の要求に、本当によく応えてくれました。色々

な思いがあらながらも、素直な気持ちで信頼してくれたことに心から感謝しております。皆さんが素直な気持ちでアドバイスを受け入れ、人間的に成長してくれたことが、七飯高校をさらによい学校に成長させてくれたと感じています。

このように、様々なことに素直な気持ちで取り組めるということは、幼い頃からのご家庭での教育のたまものであると考えます。保護者の皆様が育んだ、素直な生徒たちと出会い、色々な事をともに経験する機会を与えていただいたこと。また、学校教育に対するご家庭のご理解、ご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。三年生の皆さんと過ごした日々は私にとつてかけがえのないものとなりました。

三年生の皆さん、社会に出る準備期間は終了です。七飯高校で培った人間力と皆さんの長所である素直さを活かして、社会で立派に活躍してください。いつかどこかで、さらに成長した皆さんと会える日を楽しみにしています。

明るい未来に向けて



三年二組 担任
伊藤 真美

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

いよいよ卒業の日を迎え、皆さんは今何を思っているでしょうか。三年間は本当にあっという間だったと思います。思い返すと、着慣れない制服を着て不安げに登校し、まだ幼い顔つきで入学してきた姿をよく覚えています。それがいつの間にか制服を着こなし、大人びた雰囲気です。この三年間は大きく成長する貴重な時間を皆さんと過ごせたことに有り難い気持ちになりました。自分では自身の成長を感じにくいかもしれませんが、ふとした時に皆さんの成長を感じられる瞬間はとても喜ばしいものでした。

これからたくさん「新しい」

「初めて」が待っています。様々な新しさにワクワクする反面、初めてのことに戸惑い、自分で責任を持つことの重さに何かを投げ出したくなる

ことがあってもすぐにできるようにするのは難しく、できる状態を保つことも大変です。だからこそコツコツと地道に積み重ねていくことや、できるように

なっていくことが必要で、そういった過程を経ることでの自信にも繋がって力を発揮できるようにになると私は信じています。七飯高校で逞しく成長してきた皆さんにもこの「継続は力なり」の大切さがきつと伝わってくれていると信じています。

これまでの高校生活に誇りを持ち、ぜひ自分の明るい未来に向けて前向きに過ごしていただきたいと思います。皆さんのこれから頑張りを心から願います。いつか活躍の様子が聞けることを楽しみにしています。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、たくさんの方のサポートをしていただきながら最後まで温かい目で見守っていただき感謝申し上げます。三年間本当にありがとうございました。

一日一日の積み重ねを大切に



三年三組 担任
長崎 邦彦

三年生の皆さん、そして保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。特に保護者の皆さま、本当にお疲れ様でした。

卒業にあたり、担任として卒業生の皆さんに何を伝えることができ、何ができなかったのか、全力を尽くしたのか、自問自答してみました。答えは明白です。時間がないことを言い訳に、一人ひとりとゆっくり向き合うこともできず、一方的に目の前の問題に対応しただけでした。もともと一人ひとりに構ってあげれば良かったと反省しています。こんな頼りない担任で

したが、卒業生の皆さんはよく頑張ってくれました。本当にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さんは高校での三年間を通して、どのように変わったのでしょうか。勉強で苦労したこと、部活動や学校行事で頑張ったこと、そして友人との出会いなど、この七飯高校で成長できたことが沢山あったはずですが、それらは、突然ではなく三年間かけて少しずつ成長してきたことでしょうか。皆さんは四月から、それぞれの進路でまた一年生になります。七飯高校で学んだことを土台とし、一日一日の積み重ねを大切にして、それぞれの場所で頑張りを、さらなる成長をしてくれることを期待しています。

最後になりますが、保護者の皆さまには様々なご支援を頂きました。お子様が本校を卒業しても、精神的にも経済的にも自立するにはもう少し時間がかかると思います。時には厳しく、時には優しく見守ってあげてください。三年間、至らぬことも多々あったことと思いますが、ご協力誠にありがとうございました。

卒業生から

努力と挑戦の道のり

三年一組 手塚 一真

私の高校生活の中では特に力を入れた二つの活動があります。それは進路に向けての勉強とサッ

カー部での活動です。この二つは一見異なるように思えますが、私にとつてどちらも大切な成長の場であり欠かせないことでした。勉強は、私にとって大きな挑戦であり最初はどこから手をつければいいのか分からず、戸惑いもありました。しかし、試験の具体的な日程が近づくにつれ、どのようにしていくべきか、先生に相談し計画を立て毎日の勉強時間を確保することを心掛けました。自己管理の重要性を学び、日々の積み重ねが結果に繋がるように努力してきました。一方、サッカー部での活動も私にとって高校生活最後の年になり重要なものでした。後悔することがないように自分ができることを全力で行い良い経験とすることができました。練習は週に数回あり、試合に向けてチームメイトと共に励む日々はチームでの課題を見つけてどうしていくべきか個々として何が必要かなどを分析し取り組むようにしました。部活動では結果を出せるようにどう努力するか当たり前の環境で好きなサッカーをしていけることへの感謝の気持ち、人として成長することを学べた大きな機会となりました。また、部活動を通して仲間との絆は、精神的な支えでもあり、勉強のストレスを和らげてくれる存在でした。両立は決して容易ではありませんでした。特に試験前の忙しい時期には、練習と勉強の両方をこなすことが難しく、何度も挫けそう

になりました。しかし、部活動での仲間たちの支えや応援があったからこそ最後まで諦めず努力することができました。三年間の学びは私を大きく成長させてくれました。試験勉強を通じて得た知識や自己管理能力、部活動で培った努力する大切さ、人として成長させてくれた経験はこれからの人生においても大切にしていきたいと思っています。今後新たな挑戦に向けてがんばりたいです。

たくさん笑った三年間

三年一組 三浦 珠 愛

もう三年間が終わってしまふのかと最後の冬休みを迎えて思いました。

私の三年間を振り返って二年生の頃の思い出が印象に残っています。クラス替えをきっかけに仲が良くなった友達と休み時間に何気ない会話をしたり、みんなで机をくっつけてわいわいしながらお弁当を食べたりしました。また、二年生では見学旅行という大イベントがあり、デイズニーに行ったり、自主研修で色々なところに行き、おいしいものをいっぱい食べて楽しく過ごすことができました。他にも検定を取るため冬休みに学校に行き、みんなで教えあい大変だったけど楽しくやることができました。検定を取ることができました。三年

生になってからも検定を取るためにみんなと協力しながら頑張っています。二年生でクラス替えがあって仲良くなった友達もいるのでクラス替えがあっても私は良かったなと思っています。

三年間を通して大変なことや楽しいこと、いろいろなことがあったけれど楽しく、笑顔で過ごせたのでとても良い三年間だったと思います。四月からは社会人として働いていき、環境も変わり大変なことだと思いますが、嫌なことがあったりすると思いますが、弱気にならずに頑張りたいと思います。

挑戦と学びの三年間

三年二組 松 田 凜太郎

高校生活の三年間は、短いようで濃密な三年間でした。入学当初は不安と期待でいっぱいでしたが、多くの人の出会いや経験を通じて、自分を成長させることができました。この三年間は、挑戦と学びの連続でした。

部活動では、仲間とともに目標に向かって努力する大切さを学びました。一年生の時は先輩達のおかげもあり、全道大会に出場することができました。自分が三年生の時は、上手いかな日々がありました。最後の試合では自分の最大限の力を発揮することができました。行事では、クラスのみんなと協力

して作り上げた学校祭や体育大会が印象に残っています。特に学校祭は一から作る必要があり、一つの目標に向かって全員で努力することで、かけがえのない絆を築くことができました。

一番の思い出は、やはり友達と過ごした日常です。授業の合間に交わす何気ない会話や、放課後に友達と話しながら過ごす時間も特別でした。勉強や部活動のことだけでなく、くだらないことで笑ったこと、悩みを相談したりすること、何気ない日常が輝いていたと思います。もちろん楽しいことばかりではなく、悩んだり、失敗したりすることもありました。しかし、それらの経験があったから

こそ、今の自分があると感じます。最後に、支えてくれた家族、先生方への感謝の気持ちでいっぱい입니다。この三年間で学んだ事を糧に、これからの人生でも努力を続け、自分らしく歩んで行きたいと思っています。三年間ありがとうございました。

高校三年間での決断

三年二組 道場 叶 花

長いと思っていた高校生活もあっという間に過ぎ去り、残り少なくなってきました。入学した頃は、色々な学校から色々な人が入学してきて、新しい環境にも慣れない中、たくさん不安を持ち、



3年1組



3年2組



3年3組

教室の中へ入ったことを今でもすぐ覚えていています。そして宿泊研修、体育大会、緑峰祭、見学旅行などの行事を通して、友人との仲を深められたり、普段あまり関わることのなかった人と関わったりする中で、新しい発見や人とコミュニケーションを取ることに楽しさなどたくさんありました。部活動では、サッカー部のマネージャーとして活動し、サッカー部の選手たちが全道大会への出場がかった試合を間近で見ている、すごく心打たれました。このことをきっかけに、中学の頃バドミントン部で活動していた私は、選手を支える側ではなく自分自身が選手として活動したいと思うようになり、それを実行することに決めました。そこから二年間バドミントン部で活動し、周囲の人の怪我や自分自身の怪我をきっかけに、理学療法士という夢を持つようになり、三年生になつてからは、一・二年生の時とは比べ物にならないくらい月日の流れが早く感じました。

そして、一つ一つ行事が行われるたびに「最後」と言われたり、進路についての話がどんどん具体的になつていったりしました。私は、三年間ではなく、十八年間生きてきた中で一番の決断をすることになりました。それは、この渡島管内から出て一人暮らしをするということ

です。たくさんの不安や寂しさはありますが、幸いにも私は、家族や友人、先生方などの人に恵まれているので、これからも楽しく過ごしていけることができると思います。

最後に三年間たくさんの人に支えられてここまでくることができました。本当にありがとうございます。高校三年間で学んだことを社会に出てからも活かしていけたらと思っています。三年間お世話になりました。

人生一度の高校生活

三年三組 坂 本 虹 太

私の高校生活は長いようで短かった貴重な三年間でした。その中でたくさんのことを学び、充実した日々を過ごすことができました。一年生の時、入学当初は、クラスの同じ中学校出身者として話せない状況で、宿泊研修を通じて色々な人と話すことで友達になることができました。二年生の時、見学旅行で、集団生活を通して協調性の大切さを改めて実感できました。三年生の時は、緑峰祭や体育大会は高校生活最後ということもあり、クラスが一致団結して最高の思い出を作ることができました。三年生の夏休みから本格的に進路活動が始まり、履歴書を何度も書き直したり、色々な先生と面接練習をしたり努力しました。

私は三年間野球部に所属し、二

年生の秋から主将を務め、部員三名と少ない人数の中でも毎日、練習に取り組みました。三年生になり、一年生が六名入部してくれて部員が九名になり、チームをまとめることの大切さや視野を広く持つことの大切さ、責任感の大切さを部活動を通して学ぶことができました。小学二年生から野球をやっていた何度も辞めたいと思っていましたが高専三年生までやり抜いてみてやっていて良かったという達成感を感じることができました。

七飯高校で過ごした三年間を今、思い返すとクラスのみんなや野球部と団結して多くのことに取り組み、達成感を味わえた貴重な体験ができ、七飯高校に来て良かったと改めて実感しました。

三年間を振り返って

三年三組 松 下 奈 央

私の高校生活は本当にあつという間の三年間でした。初めの一年は、コロナ禍ということもあり、とても不安で、毎朝教室が静まりかえってしまいました。そんな中で宿泊研修がありました。この宿泊研修では、新たな出会いがあり、そこで今の友人関係が築かれました。不安と緊張の中で始まりましたが、クラス間問わずたくさんの人と話すことができ、良いスタートを切ることができました。

そして二年になり、待ちに待った見学旅行！私は大好きなディズニー作品、スターウォーズの世界観が楽しめるアトラクションに乗るため、ディズニールランドを選びました。たくさんのアトラクションに乗り、最後は少しだけ時間があつたので、この日二回目となるスターウォーズのアトラクションに友人と駆け込み、最高の演出を見ることができました。

三年になり、いよいよ進路と向き合う年になりました。そんな中で行われた高校生活最後の体育大会では、私たちのクラスがなんと総合優勝という成績を残しました。試合を観戦していく中でクラスメイトが頑張っている姿を見て、クラスのみんなが一丸となつてプレーしていたのが総合優勝に繋がったのだと、私は思います。

学校行事以外にも、私は三年間吹奏楽局で活動しました。先輩の卒業後、一年時は局員が三人になりどうなることかと思いましたが、後輩が入り、合奏隊形がとれるようになりました。勉強や進路との両立は大変でしたが、やはり部活動に入つて良かったと思いました。

この三年間は、必ずしも楽しいことばかりではありませんでしたが、ひとつひとつの出来事が本当に大切な思い出です。

P T A役員から

P T A活動を振り返って

P T A副会長 横 山 あけみ

三年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。息子が七飯高校に入学すると同時にP T Aにお世話になり最後の年となりました。

今までのP T A活動を振り返ってみて一番印象深かったのは、一緒に活動してきた保護者の方々と先生方との関わりがとても楽しかった事です。

毎年初対面の方もいますが緑峰祭、大沼湖畔一周ロードレース、研修旅行を通して保護者の方と生徒の学校での様子、部活動、卒業後の進路など皆さんとたくさん話ができて学生に戻ったようでとても充実した時間が過ごせたと思います。

P T A活動をしていると自然と子供達の頑張っている姿や友達との楽しそうなやりとりや葛藤している姿が目に入ってきます。その日々の生活の積み重ねが夢に向かって成長していく過程だと感じました。

役員として生徒たちのサポートをいかにしていくか、まだまだ課題は多いと思います。三年間という短い高校生活を充実したものにしていけるように、少しでも関心がありましたら是非参加して一緒に楽しい思い出を作ることにも貴重な経験になると思います。今後ともP T A活動にご理解とご協力を何卒

よろしくお願いいたします。三年間本当にありがとうございました。

今年度のP T A活動について

おかげさまで、これまでに当初の予定通りに活動を行うことができました。

次年度もご理解とご協力をお願いいたします。

今年度(令和六年十二月までの主な活動)のP T A活動

(1) 各研修会への積極的な参加

① 高P連道南支部総会 5月17日(金)

② 高P連全道大会(北見市)

6月8日(土) 9日(日)

③ 高P連道南支部研修会 11月25日(月)

(2) 会員の研修と交流の推進

① P T A研修会

(七飯町石井農場) 10月27日(日)

アップルパイ制作、そば打ち体験

(3) 学校行事への協力と参加

① 緑峰祭への参加・協力

7月7日(日)一般公開

② 大沼湖畔一周ロードレース

大会支援協力 10月7日(月)

(4) 広報活動

① P T Aだより「松並木」発行

6月(第127号)、3月(第128号)

(5) 役員会

① P T A総会

② 第1回役員会

4月20日(土) 5月28日(火)



全道大会(6月)



食堂レイアウト(緑峰祭7月)



進路指導部より

進路指導部長 井 上 啓一郎

卒業生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。今年度の七飯高校の進路状況を見ると、まさに生徒一人一人の努力が成果となって現れていると感じます。

進学においては、北海道教育大学函館校、公立はこだて未来大学に1名ずつの合格を始めて、私立大学を合わせて16名が大学進学となりました。また、短期大学に8名、専門学校も看護学校4名を含め、多数の合格者を出す結果となりました。

4年制大学は経済・経営・商学系や情報系分野を中心に、短大や専門学校は医療看護系、保育系などの生活関連の実学系が多い傾向です。

就職においては民間就職27名、公務員8名の内定となっています。多くの業種での人手不足に加え、卒業予定者数の減少や進学希望者の増加もあり、管内の求人倍率2.25倍と圧倒的な「売り手市場」の中で、本校生も92%の就職内定率となっており、健闘しています。民間就職は多くの生徒が函館市内・近郊への就職で、やはり地元志向が強いと感じております。

「進学校」「就職に強い高校」……都市部の高校とは違い、七飯高校生の進路希望は大学・短大・専門学校・民間企業・公務員と様々です。そのため、総合的な探究の時間では、職業選択や地域社会課題と学問との関わりについての研究、上級学校見学、企業や団体での体験実習参加など様々な探究活動に取り組んでいます。また、進学においては、模擬試験、進学講習といった各種行事を通じて進路希望の実現をサポートしています。就職希望者に対しては専門家にによる就職ガイダンスや個別カウンセリング等を通じて職業に対する意識を深める指導をしています。

卒業生の保護者の皆様には、三年間のお礼を、在校生の保護者の皆様には引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

祝 合格

進路活動を振り返って

三年一組 大住 双葉

私は希望していた七飯町役場職員への採用が決まりました。公務員という職業に興味を持ったのは私が二年生のときで、一年生の頃はまだ具体的な進路は決まっていなかったです。

面白そうだと思ったイベントやボランティア活動に積極的に取り組みました。先生に「こんなイベントがあるよ」と教えていただいたり、学校の掲示物をチェックしたりして、より多くのイベントに関わるようにしていました。さまざまな人と関わり、学校で学べないことを学べ、視野が広がりました。実用英語技能検定などの資格も取得しました。

また、科学同好会の活動にも取り組みました。部員たちと水質調査のため大沼へ行ったり、研究について発表・発信したりする機会をいただきました。これらの経験はこれから仕事や私生活に役立つと思います。公務員になるという目標を定めたあとは一次試験に向け勉強しました。模擬試験や大原学園の無料講習会を受けたり、スキマ時間をうまく使いながら試験に臨みました。

先生方には試験に合格できるか不安なときに「自信を持って」「楽しんできて」「など励ましていただいたり、相談や面接練習にも親身になっていただいたりするなど非常に助かりました。両親にもいろいろなところで支えてもらい、とても心強かったです。進路活動を通じてチャレンジすることの大切さを実感しました。進路に悩んでいる人もいると思いますが、先生方に相談し、できるだけいろいろなことに挑戦してみてください。私一人では進路を実現できません。先生方や家族、私に関わった方々には感謝もしきれません。本当にありがとうございます。

見学旅行

見学旅行を終えて

二年主任 金子 正 二

何日も前から関西地方、関東地方の週間天気を見ていた。「この日は三日目だからこっちは雨が降っても大丈夫」「この日の夜は大丈夫」など。あくまでも予報なのだが、いつの間にか日課になって

いた。

大半の生徒は見学旅行をとっても楽しみにしている。毎日「早く行きたい」などの言葉が聞こえてくる。一方で家庭から離れ四泊五日間を同級生と過ごす不安を抱える生徒もいる。見学旅行でいつも思うことは、生徒の「出発前の心構え」と「終えてからの感想」がどうなるかが大切だと。それを行く前の生徒たちの反応から読み取り投げかけていく。それはただ「楽しかった」だけで終わって欲しくないからだ。本来の目的は紙面に書かれてはいるが、生徒にしてみれば、仲間たちとどこに行って、どう楽しむのが大切であり、それが最高の思い出となるのだろう。

見学旅行初日から天候には恵まれた。空港に集合。飛行機に搭乗し離陸すれば歓声と拍手。見学地に着けば「空気が違う」「道路から家までの距離が近い」「人多くてまっすぐ歩けない」「外国人の観光客すごく多い」「夜なのにめっちゃ明るい」と楽しそうだ。時間通りには集まり活動できる。この点については出発前も旅行中も全く心配していなかった。都会ならではの人や交通網の多さにも混乱はしていないようであった。ただ自主研修が多く、そこからの疲労は否めなかったが、楽しさが勝つたのだろう。誰も根を上げなかった。

心に残ることは多々あるが、私にとつての一番は毎晩の班長会議である。それは、ホテルに戻り、疲れ、眠いなか慌ただしく集まり、各班やクラスのこと、そして見学旅行を成功させようと反省点を挙

げ改善に向けて話し合った。皆それぞれが同じタイミングでメモをとる姿はとても美しかった。

とても有意義な時間だった。そう感じられたのは、出発前に私は素敵な思い出となる時間が終わってしまふので「まだ行きたくないな」「そういう言葉をよく口にしたい」生徒の反応は「何で？早く行きたい！当然である。見学旅行最終日、函館空港へ向かう機内で聞こえてきた言葉は「楽しかったけど……まだ行きたくなかったな」だった。そう思えたことは、とても素敵な時間を過ごし、価値ある経験ができた証拠なのだと思う。見学旅行が終わる頃、そういう感想を持つてくれたらいいなと思っていた。

個人で目的を見いだす「旅」は「線」、観光地を訪れる「旅行」は「点」と目的の違いなど比較されることはよくある。今回の見学旅行はその両方にある。観光地が点だけではなく、人と話したり過ごした時間、考え、学び得たことも含む。「点」を「線」で結びながら、これからの人生の糧にして繋げていって欲しい。

☆ 初日の思い出

二年二組 山内 雅博

ピピピピピピピッと携帯から鳴るアラームの音と共に目覚めた。

十月十四日祝日の日、私は、ワクワクが止まらず興奮していた。それはなぜか。そう今日は私が待ちに待っていた二年生最大の行事である四泊五日の見学旅行がついに始まるからである。私は急いで朝の支度にとりかかった。朝食、シャワー、着替えを済ませてから荷物の最終チェックをし、函館空港へ向かう。外の気温はとても低く寒かったが、本当に今日から見学旅行が始まるんだと思うと、外の寒さがどうでもよくなった。父と母に「行ってきました」と言い残し、いざ京都へと出発した。人生初の飛行機は少し怖くなり、そわそわしてしまつたが、急加速し、空に浮かんだ時には怖さがなくなり、気持ちが高鳴り、興奮していたのだ。今でも覚えている関西初日の思



い出は、奈良公園の東大寺である。理由は二つある。

まず一つ目は、公園の広さと建物の大きさである。奈良公園に着いて、いざ観光。私はすぐに目的の建物である東大寺に着くだろうと思っていた。しかし、なかなか見えず、公園の広さに驚愕した。二つ目は、鹿の数の多さである。最初は数匹しか見られなかったのが、そんなにいないと思っていたが、バスを降りて公園内を歩いていたら、私の周りからどんどん現れて来て、数の多さを思い知らされた。

他にもたくさん思い出を作ることのできた、最高に楽しかった見学旅行だった。

三年間の部活動

美術部 三年一組 飯 川 心 海

美術は個人戦です。キャンバスにのせる一筆一筆全て、自分が生み出したものでなくてはなりません。しかしその反面、美術こそ多くの人の助けがあつて成り立つものであると思います。同じ美術部員や他校の生徒、クラスメイト、先生、家族、また建物や自然、さらには過去の経験など、私達は身の回りのすべての人や物からヒントを貰いインスピレーションに繋がっています。多くの人と関わり多くのものに触れることが、良い作品へとつながる、私は三年間の部活動を通してそれを理解することができました。

はじめは、自分と違うものを受け入れるのは困難でした。作品展

に出展すれば、自分より遥かに上手な同年代との差をまざまざと見せつけられました。どんなに時間をかけ熱心に作り上げた作品だった、全国には及びませんでした。ですが自分とは違うからと目を背けるのはひどく簡単でした。そんな中、大会や研修で交流をしていくうち、どんなに上手い人も違う感性をもった人も、自分と同じように悩み、努力している普通の人間だと気付かされたのです。遠い存在でも恐れる対象でもないとなってきたとき、違いを知ることとはとても楽しいと思えました。

それに気付くことができたおかげで、自分を支えてくれている存在も見えました。友人の何気ない一言や先輩からのアドバイス、先生の指導、すべてが絵を描く燃料となり、楽しむ理由になります。みんなのおかげで私は絵を描き続けられました。本当にありがとうございました。これからも、感謝を忘れず表現を続けていきたいと思っています。



全道大会出場・優秀賞おめでとう

令和六年度も七飯高校の部活動は頑張っています。多くの部員達が全道大会に進出しています。また惜しくも全道大会には届きませんでしたがいかなる部活動で入賞を果たしています。

〇剣道部

高体連函館支部剣道大会

男子団体第2位

男子個人戦

3年1組 澤口 勇心 第3位

2年2組 河村 陽 第4位

2年1組 小栗 竜悟 第5位

女子個人戦

3年1組 福地 莉子 第1位

国民スポーツ大会北海道予選出場

男子個人戦

3年1組 澤口 勇心

2年1組 小栗 竜悟

2年2組 河村 陽

女子個人戦

3年1組 福地 莉子

北海道段別選手権大会出場

男子初段の部

3年1組 吉田 蒼哉

3年1組 吉田 昂太

男子式段の部

2年1組 小栗 竜悟

1年3組 池田 怜矢

3年1組 澤口 勇心

女子式段の部

3年1組 福地 莉子

高体連道南ブロック秋季剣道大会

男子団体第1位

男子個人戦

1年3組 池田 怜矢 第7位

1年3組 西本海夏斗 第9位

2年2組 藤井 正照 第13位

男子砲丸投げ 第5位

〇陸上競技部

第77回函館支部陸上競技選手権大会

3年1組 長岡 涼太

男子円盤投げ 第4位

男子砲丸投げ 第5位

2年3組 金谷 麻音

女子やり投げ 第6位

第57回道南高校新人陸上競技大会

2年3組 金谷 麻音

女子やり投げ 第3位

〇写真部

第44回高文連道南支部写真部地区大会

2年1組 田原美胡

「諸行無常」

優秀賞

3年2組 工藤竜揮「脱出王」入選

3年3組 櫻井瑠衣「すれ違い」入選

〇美術部

第62回高文連道南支部美術展

3年1組 飯川心海

「流離ふ」

優秀賞

3年1組 熊谷碧宮

「万の奇跡」

優秀賞

3年1組 飯川心海

「流離ふ」

優秀賞

3年1組 熊谷碧宮

「万の奇跡」

優秀賞

3年1組 飯川心海

「流離ふ」

優秀賞

3年1組 熊谷碧宮

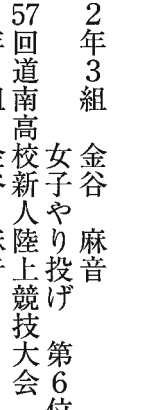
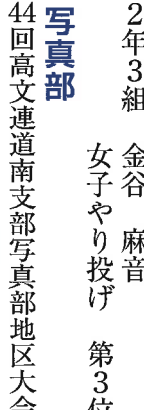
「万の奇跡」

優秀賞

3年1組 飯川心海

「流離ふ」

優秀賞





花壇整備 (5月)



高野連全道高体連壮行式 (6月)



賞状伝達式 (6月)



緑峰祭部門別説明会 (6月)



防犯教室 (6月)



緑峰祭準備風景 (6月)



緑峰祭準備風景 (6月)



ソーシャルスキル講演 (1年生) (6月)



緑峰祭食券販売 (6月)



緑峰祭一文字 (7月)



緑峰祭垂れ幕 (7月)



緑峰祭 (7月)



緑峰祭 (7月)



緑峰祭ステンドグラス (7月)



緑峰祭似顔絵 (7月)



緑峰祭 (7月)



緑峰祭 (7月)



緑峰祭 (7月)



緑峰祭 (7月)



緑峰祭 (7月)



理科課題研究出前講座 (8月)



フィールドスタディ (2年生) (7月)



緑峰祭 (7月)



国際交流センター留学生来校 (8月)



北海道シェイクアウト (9月)



学校説明会 (9月)



カタリ場 (2年生) (9月)



未来ビュー (1年生) (9月)



生徒会役員選挙 (9月)



生徒会役員選挙 (9月)



芸術鑑賞 (9月)



進路課題探究発表会 (3年生) (9月)



体育大会 (9月)



体育大会 (9月)



体育大会 (9月)

行事などを写真で振り返る
本校の授業や学校行事を写真で振り返る
ながら本校生の様子をご覧いただければと思
います。なお、五月末からの行事写真は載
せており、第二十七号に載せた行事等は載
せておりませんのでご了承ください。



硬式野球部



サッカー部



バドミントン部



女子バレーボール部



陸上競技部



男子バスケットボール部



剣道部



硬式テニス部



英語部



写真部



美術部



茶道部



吹奏楽局



放送局



ボランティア局



科学同好会



生徒会認証式 (10月)



一日防災学校(防災講話)(10月)



一日防災学校(第2回防災訓練)(10月)



ボランティア局防災テント設置 (10月)



北海道警察音楽隊演奏会 (10月)



ロードレース大会 (10月)



ロードレース大会 (10月)



理科課題研究野外実習 (10月)



大学訪問 (1年生) (10月)



海外交流派遣研修事業壮行式 (10月)



交通安全キャンペーン (10月)



こころのライブ授業 (10月)



薬物乱用防止教室 (11月)



地域課題探究発表会(2年生)(11月)



消費生活講話(3年生)(12月)



環境学習発表会 (12月)

海外交流派遣研修事業報告会(12月)

第四十回生の三年生の皆様、
そして保護者の皆様卒業おめ
でとうございます。PTAだより
「松並木128号」が完成しました
のでご覧ください。今年度予定し
ていた全ての行事を実施するこ
とができました。無事終了する
ことができたのも生徒の皆さん
の頑張りのおかげです。また、各
種の大会が実施され、多くの場
面で大活躍が活躍してくれまし
た。PTA活動でも六月に見まし
で行われた全道大会に参加し、
月で実施されたミニバレーボー
ル大会にも二年連続して出場す
ることができました。このよう
な多くの研修の機会を得て、知
見を広めながらお互いの親睦を
深めることができました。繰り返
しになりますが、大変感謝して
います。これからも七飯高校の
職員、保護者の皆様のご協力
が必要です。次年度以降の協力が
支障なく、ご鞭撻をよろしくお願い
します。

編集後記



令和6年度 前期生徒会



令和6年度 後期生徒会